

女性現実研究所 (Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール)

女性現実研究所 資料『女性現実物語』

新旧第一女性提供・委託資料保管セクター(センター)(着用衣類、使用物品等)

分類作業、通告・通報マニュアル (衣類、物品等)

まるで物語のような女性の現実に合わせて

初版：2004年5月2日

最終更新：2019年9月22日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ (代表ウォッチャー、男女)

～ 編者 (女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集) ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ (幹部女性ウォッチャー) 一同

～ ご協力者 (代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます) ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ (一般女性ウォッチャー) の皆様

(社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ)

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様

(本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。)

目次

1. 新旧第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）
（衣類・物品センター、衣類・物品保管庫）と保管点数について
 - (1) 旧第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）
 - (2) 新第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）
2. 分類作業および通告・通報の仕組みと手順
3. 法令・条例および判例に対する我々の姿勢と分類方針
4. 分類作業および通告・通報マニュアル
- G. 新旧第一女性提供・委託資料保管センター（保管庫：センター）
 - D. 衣類・物品等研究調査グループ
 - X. 性具、淫具、性玩具、アダルトグッズ・マシン検証セクション
 - A. 生理用品、衛生・医療用品検証セクション
 - B. 小物・日用品・化粧品・装身具検証セクション
 - C. 被服、かぶり物、顔用検証セクション
 - D. 被服、衣類、上着・アウター・中着、全身・上半身・トップス検証セクション
 - E. 被服、衣類、上着・アウター、下半身・ボトムス検証セクション
 - F. 被服、衣類、下着・インナー・水着、セット検証セクション
 - G. 被服、衣類、下着・インナー・水着、上半身検証セクション
 - H. 被服、衣類、下着・インナー・水着、下半身検証セクション
 - I. 被服、履物検証セクション
 - (X. 性具セクションの分類)
 - X. その他、日本の性具
 - A. 乳頭・クリトリス用（手動系、ニップル・クリトリスキャップ・クリップ）
 - B. クリトリス用、乳頭・ヴァギナ・肛門にも使用可（電動小刻み振動系、ローター、電マ）
 - C. ヲァギナ用、乳頭・クリトリス・肛門にも使用可（手動系、ディルド）
 - D. ヲァギナ用、クリトリス・肛門用機能付有り（電動スイング・ピストン系、パイプ、クリバイブ）
 - E. 肛門用（手動系、アナルパール）
 - F. 肛門用（電動スイング・ピストン系、アナルバイブ）
 - G. 小型マシン
 - H. 中型マシン
 - I. 大型マシン
 - (C～I 被服セクションの分類)
 - X. 混合（セット、洗濯・物干し・収納、コレクション等）

- A. 無色透明、シースルー
- B. 柄物
- C. 白
- D. 黒、灰、グレー
- E. 赤、ピンク
- F. 肌、ベージュ、茶、黄
- G. 緑
- H. 青、水、紺
- I. 紫

1. 新旧第一女性提供・委託資料保管センター

(衣類・物品センター、衣類・物品保管庫) と保管点数について

当マニュアルが対象とする女性提供・委託資料(衣類等)は、他の資料と同様、私たち女現研スタッフの多くが居住する女子シェアハウスの敷地内にある大規模な保管庫にて厳重に保管しております。保管庫は、シェアハウスの一施設ではありますが、女現研本部が直接に管理・監督する大型倉庫です。

ここでいう衣類等とは、性被害女性などが(全裸でない状態での)被害中に着用していた衣類に限らず、その前後に着用・脱衣していた衣類をも含みます。性具・アダルトグッズなどの物品についても、全てを含みます。

入居女性や一時的に保護した女性の回収済みの性被害物(販売、無断譲渡された下着類、衣服類、私物など)を中心に保管しており、女現研およびシェアハウスとしての独自調査に使用しています。

とりわけ、性被害の程度が軽微であると判断されるなどして、被害届が警察に受理されなかったり、保健所・児童相談所などに相談を受け付けられず被害女性が諦めていた個人レベルの性被害を、最高代表のもと、私たち有志の女性自身で徹底して極秘に扱い、調査しています。

独自調査は、特に性被害を受けておらずアダルトコンテンツの閲覧にトラウマなどの支障のない幹部の女性メンバーを中心に、強い信念のもとおこなわれています。

独自調査による被害物の回収率は、商業ベースに乗ってしまったものほど悪く、盗撮者・売り手が母親などの親族である場合や買い手・受取人が母親の不倫相手や近所の男性である場合ほど良くなっています。

(後者のほうが、訴訟手続き、費用、時間などの負担なく、加害者の自宅に訪問して詰め寄りやすいため。)

入居女性やその他の被害女性より親告罪としての告訴の意志の表明があった場合(強姦罪・強制わいせつ罪・名誉毀損罪・侮辱罪など)、自治体や警察に証拠として提出いたします。なお、集団強姦罪などの非親告罪が疑われる場合、被害女性に対しその旨を説明し、即時警察に通報いたします。学生、生徒、児童の場合、学校にも通告いたします。

保管点数

被害女性などの下着類・衣類・私物

約 35,000 着

市場に出回ったものについては、回収が困難である性質のものであり、一部を除いては回収できていません。

母親が娘（女兒・女子小中高生・女子大生）のものについて、また、パートナーの男性や友人女性が被害女性のものについて、無断で売り渡し・譲渡・貸し出しなどをおこなっているケースが後を経ちません。被害衣類のうちのほとんどがパンティーやブラジャーなどの下着類であり、次にセーラー服、スクール水着などの制服類や一般の水着類、生理用品、ストッキング、靴、ハンカチ、寝具などと続きます。

ほとんどの場合、自宅にいる主婦や在宅時のOLなどが、夫やパートナーのいない時間を狙って娘や友人女性のそれらを洗濯しないまま売り渡しており、被害女性の排泄物・体液が付着していることが取引価格の上昇の重要なカギとなっているようです。

今後も可能な限り買い手・受取人の特定に全力を注ぎます。

被害女性などの排泄物・体液（唾液・尿・糞便・汗・経血など）

約 25,000 検体

市場に出回ったものについては、回収が極めて困難または不可能である性質のものであり、一部を除いては回収できていません。

母親や姉妹が娘や姉妹である女兒や女子生徒のものについて、また、パートナーの男性や友人女性が被害女性のものについて無断で採取の上で売り渡し・譲渡などをおこなっているケースが後を経ちません。

今後も可能な限り買い手・受取人の特定に全力を注ぎます。

(1) 旧第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）

当センターでは、女現研にご相談下さった性被害女性、性依存女性、性症状女性、失恋女性、ヌードモデル・AV 出演・援助交際・売春・不倫経験女性など（同性愛女性を含む）から提供された、おもに昭和時代以前の資料のうち、撮影中や性行為中、性症状発症中、またはそれらの前後に着用・脱衣していた衣類、使用していた物品などを、男性の厳しい監督・システムパトロールのもと、女性スタッフたちが厳重に保管しております。一つ一つ丁寧に封入し、衛生管理を行っております。

女性ごとのご希望により、女現研においてこれらの調査研究、証拠採取、洗濯、滅菌、供養などの宗教的・精神的な儀式、処分（裁断、破断、焼却、溶解など。お立ち会い可）、ご本人への返却から、保健所・警察・学校などへの証拠品としての提出まで、様々な対応を行っております。ただし、処分の場合、性被害としての証拠は絶たれてしまいますので、ご注意ください。

「過去を思い出したくない」、「トラウマやフラッシュバックを避けたい」などの理由から一度お預け入れいただいたあと、単に処分するか、やはりお持ち帰りいただくか、宗教的・精神的な儀式などを行ってから処分や持ち帰りをを行うか、外部へ証拠品として提出するか

について、お考えいただく期間に期限はございません。いつでもお預けいただいた衣類や物品の閲覧、引取にお越しいただくことができますので、ゆっくりお考え下さい。

（2）新第一女性提供・委託資料保管センター（着用衣類、使用物品等）

当センターでは、女現研にご相談下さった性被害女性、性依存女性、性症状女性、失恋女性、ヌードモデル・AV出演・援助交際・売春・不倫経験女性など（同性愛女性を含む）から提供された、おもに平成時代以降の資料のうち、撮影中や性行為中、性症状発症中、またはそれらの前後に着用・脱衣していた衣類、使用していた物品などを、男性の厳しい監督・システムパトロールのもと、女性スタッフたちが厳重に保管しております。一つ一つ丁寧に封入し、衛生管理を行っております。

女性ごとのご希望により、女現研においてこれらの調査研究、証拠採取、洗濯、滅菌、供養などの宗教的・精神的な儀式、処分（裁断、破断、焼却、溶解など。お立ち会い可）、ご本人への返却から、保健所・警察・学校などへの証拠品としての提出まで、様々な対応を行っております。ただし、処分の場合、性被害としての証拠は絶たれてしまいますので、ご注意ください。

「過去を思い出したくない」、「トラウマやフラッシュバックを避けたい」などの理由から一度お預け入れいただいたあと、単に処分するか、やはりお持ち帰りいただくか、宗教的・精神的な儀式などを行ってから処分や持ち帰りを行うか、外部へ証拠品として提出するかについて、お考えいただく期間に期限はございません。いつでもお預けいただいた衣類や物品の閲覧、引取にお越しいただくことができますので、ゆっくりお考え下さい。

なお、最近では女性（祖母、母親、姉妹、伯母、従姉妹、教師、同僚、友人など）による性的加害・性暴力（脱衣強要、撮影、盗撮、下着窃盗、転売、強制的性交等幫助、工具などでの暴力）も増えており、女現研でも、加害男性よりは加害女性の割り出しを得意としております。加害男性の痕跡は当然、被害女性の身体で直接的暴力の痕跡として見つかるケースが多い一方、加害女性の痕跡は、あとに残された衣類や物品でこそ見つかるケースが多いことも、影響しています。しかしながら、最近では加害女性の体液が被害女性の身体から採取されるケースも増えており、複雑多様化しています。

2. 分類作業および通告・通報の仕組みと手順

下着類・衣服類・私物については、加害者の手が触れていることから、（洗濯・洗浄の有無にかかわらず、心理的理由から）被害女性が返却を拒否するケースが多く、その場合には（証拠保存のため）未洗濯・未洗浄のまま保管庫に保管し、女現研・シェアハウス内で

女性現実研究所（Women's Real-Life Research Laboratory、WRLRL、ウィルール）

の独自調査に用いたり、警察などの公的機関へ捜査用に提出したりしています。被害女性が返却を希望した場合は洗濯・洗浄して返却するなどしています。

3. 法令・条例および判例に対する我々の姿勢と分類方針

新旧第二女性提供・委託資料保管センターの同項に同じ。

4. 分類作業および通告・通報マニュアル

目次の通り。